

菊川忠雄

きくがわ ちゆうゆう

労働運動家、政治家。

明治二十四年二月一日愛媛縣

生れ、昭和二十九年九月二十六日没（一九〇一—五五）。第一高等學校在學

中の大正十一年、石田共一郎等と社會思想研究會を興す。十五年東京

帝國大學經濟學部卒。日本労働總同盟に參加。昭和十一年至日本労働

總同盟總理事務、十二年產業報國俱樂部結成、二十二年日本鑛山労働組

合組合長。また日本社會黨總務部に加はり、衆議院議員となる（當選二

回）。洞爺丸事故の遭難死。

著書 『學生社會運動史』（昭和六年十月一日中公論社）等。文獻に

『故郷告白集』

菊川忠雄

『若者克己進歩録』

（淺沼裕次郎編、

昭和二十九年十一月

十日日本社會黨本部）、『菊川忠雄とその思想と実践』（昭和二十一

年九月）二十六年日本労働組合総同盟・菊川忠雄追悼出版委員会）等。